

## 南三陸町立歌津中学校

2015年 1月 5日

大西 歩実(香川大学大学院教育学研究科)  
北林 雅洋(香川大学教育学部)

### 【文献】

- (1) 「学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議(第15回) [資料1-3 災害に強い学校施設づくり検討部会 報告書(案)参考5] 文部科学省  
[http://www.mext.go.jp/component/b\\_menu/shingi/siji/\\_icsFiles/afieldfile/2014/03/31/1346033\\_9.pdf](http://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/siji/_icsFiles/afieldfile/2014/03/31/1346033_9.pdf)

### 【場所】

伊里前湾から約300mの位置にある。  
住所:宮城県本吉郡南三陸町歌津伊里前123



赤い範囲:南三陸町 赤い範囲:南三陸町歌津

緑の範囲:歌津中学校

### 【東日本大震災による被害】

津波による被害は無かったが、隣の伊里前小学校は床上浸水。

### 【震災当日の様子】

地震の揺れが収まってから校庭に1次避難を行った。その後、大津波警報を受けて隣の伊里前小学校の児童が歌津中学校の校庭に避難してきた。小学校は 標高約15mの高台にあったが、中学校はさらに高い標高約23mの高台にあったためである。

中学校の校長が校庭でも危険であると判断し、中学校の裏にある標高40m以上あるさらに高台に児童生徒を避難させた。小学校に津波が到達し、高台で1時間経過して津波が落ち着いたら、中学校の屋内運動場に避難した。(1)

### 【調査して言えること】

学校は高台にあり標高は約23mで、海から約300mの場所にあり、海から学校まで山などの遮る地形は無いため、地震の際は津波を警戒する必要のある学校である。高台にあるため、学校からは海の様子が見える。

学校のある高台は山の中腹にあり、学校横の道路からさらに高い場所へ行くことができる。また、屋内運動場の2階には山へ続く道路に直接繋がっている通路が設けられていた。

学校横の道路から高い場所にすぐに避難することができ、学校外への避難がしやすい学校である。



南から見た学校(2014/3/18撮影)

※ 校舎裏に見える山に避難した高台がある。



北から見た屋内運動場にある通路  
(Googleストリートビュー2013年3月撮影より)